

地元や旅行会社歓迎

地上支援輸送態勢に課題

新千歳発着枠2割増

新千歳空港の発着枠が来年3月の夏ダイヤから2割増えることが決定した16日、地元自治体や旅行会社などからは歓迎の声が上がった。ただ、新千歳の旅客数が過去最高を更新し続ける中、空港の運用や輸送態勢は限界に近いとの指摘も相次いでおり、関係機関は受け入れ態勢の強化に向けた再検討を迫られそうだ。(2面参照)

「就航会社が増えて競争が激化し、旅行代金が下がる可能性がある」と予測。日本旅行北海道の佐々木博章メディア販売センター所長は「外国人の受け入れだけでなく、道民の海外旅行客も増やさなければ」と気を引き締めた。

「空港の活性化や航空需要の拡大につながる」。千歳市の山口幸太郎市長は発着枠拡大について「期待が膨らむ。エイチ・アイ・エスの山田大二北海道営業グループサブグループリーダー

道は2017年度に年間279万人だった来道外国人を20年度までに500万人に増やすことを目指している。新千歳の発着枠は17年に1時間当たり32回から

42回に増えたが、道内観光関係者らの間では「目標達成に向けて今の発着枠では限界だ」と(壇八義博・道観光振興機構会長)など、一層の拡大を求める声も広がっていた。

ただ、発着枠を拡大しても現状の受け入れ態勢での就航便数増加には懐疑的な向きもある。ソウルと千歳などを結ぶ路線を運航する韓国の格安航空会社は昨年夏に増便を検討したが、地上支援業務の会社や給油会社の手配がつかずに断念した。担当者は「地上支援業務の人練りが解消されない」と就航を増やすのは厳しいと指摘する。別の航空会社幹部は「新千歳は急激に大きくなりすぎて、受け入れ態勢が追い付いていない」と言い切る。

新千歳の乗降客が増えれば空港からの移動手段の充実も求められる。貸し切りバスを運行する札幌観光バス(札幌)の社長は「団体旅行客が増える」と期待する

6両から7両に増やすことも検討するが、費用の問題などから実現は容易でない。同社幹部は「何らかの対策は必要」と話すものの、発着枠が拡大する来年3月まで時間は少ない。(世田大也、黄田ゆかり)

みで、車両側の破損も少ない。特許を出願しており、被害を最小限に抑える手段として普及させたい考えだ。柵は縦1.1メートル、横60センチの金属製パネル。通常は着板のように立っているが、駐車していた車が誤発進し、柵に衝突した瞬間、パネルが車両の進行方向に傾斜して車体を浮かせる。傾斜角などを工夫し、四輪駆動でも乗り越えることができないような構造になっている。開発に協力した道立総合研究機構工業試験場(札幌)によると、一般車の場合、時速20キロ程度の衝突には耐えられるという。

車の誤発進柵で阻止

札幌の会社 駐車場向けに開発



衝突実験で、車止め柵に阻まれて停止した試験車両

高齢ドライバーが目立つペダルの踏み間違いによる交通事故を減らそうと、警備用品製造のトライ・ユー(札幌)とゴム製品製造の白石ゴム製作所(函館)の閉店が響いた。スーパーは1.0%増の623億7800万円、2カ月ぶりに前年を上回った。

「継続に疑義」 5月期決算で初注記 「函館」流通、木材、不動産事業などを展開するテオーホールディングス(HD、函館)は、16日発表した2019年5月期の決算短信に「継続企業の前提に関する重要な疑義が生じている」と初めて注記した。業績不振が長引き、取引先の金融機関に経営改善を前提とした支援を要請しているためと説明している。

度外国人人材 道内定着を 経産局が支援事業

北海道経済産業局は、ITや通訳など専門的・技術的分野の在留資格で働く「高度外国人材」の雇用を促進する支援事業に乗り出す。留学生や道内企業を対象にした採用に関する調査を行い、結果を分析した上で公表するほか、19日には企業向けセミナーも開催。単純労働分野を対象とする外国人技能実習生や特定技能取得者に比べ、就業情報が少ない高度人材の道内への定着に一役買う。

経産局によると、2018年10月現在の道内の外国人労働者の方1026人のうち、高度人材の割合は18.3%。全体の半分を占める技能実習生と異なり情報が少なく、留学生から「道内に残りたいのか」「どこで求人を見ればいいのか」から「業種側から」雇

「共生 新時代」 企業に需要調査、留学生に聞き取り

そこで、経産局は道内企業500社を対象にした高度人材に関するニーズ調査を実施。道内留学生への聞き取り調査も近く行い、専用サイトで求人情報や留学生側の希望職種などを掲載する。また、19日午後1時半からはホテルポールスター札幌(札幌市中央区北4西6)で、高度人材を採用している道内企業の代表が採用の体験談などを紹介する無料セミナーも開く。

年明けには、札幌市の姉妹都市で、日本のIT業界への就職希望者も多いロシア・ノボシビルスク市内の大学生らに、道内のIT企業をインターネット電話「スカイプ」を介してPRする企業説明会も行う。経産局は「多様な人材を獲得し、企業活動の幅を広げてほしい」と(国際課)と呼びかける。(佐々木博章)

スーパー販売額1.0%増 道内5月 気温高め 飲食料堅調

北海道経済産業局が16日発表した5月の百貨店・スーパーの販売額(速報値)は、前年同月比0.6%増の773億1800万円と2カ月ぶりに前年を上回った。気温の高い日が続き、スーパーで飲料水やアイス

といった飲食料品の販売が堅調だったことなどが影響した。百貨店は0.7%減の149億4千万円で4カ月連続で前年を下回った。大型連休中は土産用の菓子類が好調だったものの、1月末

5月経済概況 判断据え置き

北海道経済産業局は16日、5月の経済指標を発表した。道内経済概況を公表した。道内経済概況を公表した。道内経済概況を公表した。

5月の販売動向		5月の鉱工業生産動向	
スーパー	販売額・百万円	生産	出荷
スーパー合計	77,318 (0.6)	生産指数	97.0
	14,940 (▲0.7)	出荷指数	96.3
	62,378 (1.0)	在庫	104.6
コンビニストア	販売額・百万円	前月比 (%)	1.5
	49,155 (3.5)	前年同月比 (%)	▲1.5
専門店	販売額・百万円	前月比 (%)	92.2
トア	10,952 (6.1)	前年同月比 (%)	▲4.7
ター	22,379 (6.3)		
	13,816 (4.4)		

マザーズ		16日	
銘柄	終値	前日比	前月比
6-FAC	417	▲7	▲7
アール	794	▲16	▲16
アール	831	▲21	▲21
アール	1038	▲36	▲36
アール	4180	▲105	▲105
アール	1207	▲51	▲51
アール	4325	▲25	▲25
アール	790	▲35	▲35
アール	540	▲23	▲23
アール	908	▲42	▲42
アール	1017	▲67	▲67
アール	1386	▲28	▲28
アール	1070	▲150	▲150
アール	1482	▲125	▲125
アール	2027	▲32	▲32
アール	2134	▲30	▲30
アール	729	▲7	▲7
アール	1295	▲11	▲11
アール	709	▲11	▲11
アール	2800	▲21	▲21